

みなさん、こんにちは。

明石公園の木々の葉もようやく赤や黄色に色づき始めたかと思うと、落ち葉となって冬支度を始めています。

1. 「発掘された明石の歴史展 ～ 最近の発掘調査の成果から ～」

「発掘された明石の歴史展」を18(土)から開催しています。明石城下の武家屋敷や足軽屋敷、町屋などから出土した茶碗や皿、煤(すす)の付いた灯明皿などの遺物を見ると、人々がそこでしっかりと暮らしていた痕跡がわかります。井戸の跡、竹の水道管など人々のくらしにしっかりと結びついていたものから当時のくらしぶりを想像してみるのも楽しいのではないのでしょうか。



浄行寺明石城図(浄行寺蔵)



円面硯(硯町出土)



あかねが丘の生徒、発掘作業体験展示

今回はあかねが丘学園の24回生(自主活動グループ他)が硯町遺跡を発掘した様子や出土遺物を洗浄したり接合・復元した時の様子も併せて紹介しています。作業に参加した柴田さんは「発掘作業の時の暑さは本当に参りました。出土品の洗浄にも気を使いましたが、貴重な体験ができて埋蔵文化財の調査や保護について、その重要性を学びました」と話されました。

講演会「武家屋敷と町屋」

講師：渡辺 昇 氏(兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所)

11月25日(土)13:30～(定員100名、電話予約受付中、要観覧料)

問い合わせ918-5400

2. 第53回 明石市美術展 後期の部 11月26日(日)16:00まで

11月22日(水)から「2006明石市芸術祭 第53回明石市美術展」後期の部(洋画・彫刻・写真)が当館2階ギャラリーで始まりました。

審査員の一人、洋画家の福田好克先生からは「デザイン的な作品やコラージュの手法などを取り入れ、年々表現方法が多彩になってきています。しっかりと時間をかけて描きこんだ油彩の重厚感も素晴らしいですよ」という講評。



油彩をじっくりと鑑賞



ユニークな彫刻の前で



写真のコーナー

写真審査担当の一人、宮崎元子さんは「どの作品も力作ぞろいのでバック(背景)の使い方もいいし、ピントもしっかりしています。最近はデジタル写真も増えてきて、どんどん銀塩写真(フィルムカメラ)に近づいていますね。」と話されました。

この日、午前中にじっくりと鑑賞されていた女性から「みなさん本当にお上手ですね。来年は私も出品できるようにがんばります」という感想をいただきました。